

2012年度 2 学期 アジア文化概論 II (東南アジア古典文化論) 期末レポート課題

教員：青山 亨

課題配布日：2013 年 1 月 24 日

課題提出日：2013 年 2 月 7 日(木)4 限 授業時間中

レポートの形式：A4 判 3200 枚以内。1 ページの上部に「東南アジア古典文化論 2 学期期末課題」と書き、氏名・学籍番号を明記し、左上をホッチキス止めすること。

(レポート作成にあたっては、次ページの「レポート作成チェックリスト」を参考にしてください。)

課題：インドの物語における輪廻転生の機能

輪廻転生 (reincarnation) という概念は世界的に存在している。とくにインドの物語では、マハーバーラタやラーマーヤナのようなヒンドゥー教の物語の場合でも、仏伝やジャータカのような仏教の物語の場合でも、輪廻転生という考え方が背景に存在する。マハーバーラタとラーマーヤナおよび仏教 (上座 and/or 大乘) の物語の中で具体的にどの人物について、輪廻転生がどのように語られているかを説明し、次に、その人物が輪廻転生しているという事実によって、物語にどのような宗教的意味が与えられているかを考察しなさい。

レポート作成チェックリスト 2013-01-24

詳しい説明はこちらを読んでください：

http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/2009/12/3_5.html

1. 形式

- 1) 各パラグラフの1行めは1字下げをする。(ヒント：インデントを使うと簡単)
- 2) パラグラフとパラグラフの間の行間にはスペースをいれない。
- 3) 句読点には「、」と「。」を使う。
- 4) 英数字には全角ではなく半角を使う。「2013年」ではなく「2013年」)

2. パラグラフ (論理段落)

- 1) 1つのパラグラフでは1つのトピックについて述べる。
- 2) パラグラフの最初の文はパラグラフのトピックについての述べる要約文にする。
- 3) パラグラフの最初には、必要に応じて、パラグラフを接続する単語をつける。例：「したがって、しかしながら、次に、第一に、最後に、」
- 4) パラグラフの一般的構成は、要約文・支える文・まとめる文の3部構成である。例：「インドネシアは世界最大のイスラーム信徒の国である。中国、インド、アメリカに次ぐ世界第4位の人口2億4千万人のうち88%がムスリムであるとされている。このことはインドネシアの文化や政治を考えていく上で大変に重要なポイントである。」

3. 構成

- 1) 最初のページの冒頭に、題目 (授業科目)、氏名、所属、学生番号、授業科目、提出年月日などの情報を表示する。
- 2) 序論・本論・結論の3部構成になるようにする。
- 3) 序論は「はじめに」、結論は「おわりに」と見出しをつけ、本論は適宜、章に分ける。
- 4) 序論では、課題をどのように理解し、何を明らかにしようとするのか、何を明らかにしたのかを簡潔に述べる。本論では、結論にいたる過程を具体的に明らかにする。結論ではレポート全体の結論を簡潔に示す。
- 5) 本論の各章は、もし必要なら、節にわけて、「1.1、1.2、1.3...」とする。

4. 参考文献一覧

- 1) 論文の末尾に必ず参考文献一覧をつける。
- 2) 参考文献一覧には、論文作成に参照したすべての文献 (書籍・論文・記事・ウェブサイトなど) の書誌情報を掲載する。
- 3) 参考文献一覧の文献は一定の順序で並べる (日本語の場合は五十音順が一般的)。

5. 本文中の文献の参照

- 1) 論文作成に参考にした文献は、本文中で参照 (要約、「短い引用」、「長い引用」) し、参考文献一覧に文献の書誌情報を掲載する。
- 2) 本文中での参照は、文末の句読点の前に、丸括弧の中に入れて、著者名 (苗字のみ)、刊行年、頁 (必要な場合) の順に表示する。例「...と推測されている (山田、2010: 150-152)。」

6. 註

- 1) 論文の中心的議論には含まれないが、理解を助ける情報は、註にする。
- 2) 簡単な註は、本文中で、丸括弧の中に入れて簡潔に記載する。例：「スカルノ大統領 (在位 1945年-67年)」
- 3) 長い註が必要な場合には、文末の句読点のあとに、上付で丸括弧内の通し番号を表示し、結論のあとに、註をまとめてつける。例：「...と推測されている。⁽¹⁾」

7. 図・表

- 1) 図 (写真、グラフ、地図など) の説明は図の下、表の説明は表の上につける。
- 2) 図・表が複数ある場合には、「図1」「表1」などと通し番号をつける。